

園長だより

2024年7月12日

園長 澄川忠男

◆頭で思っているも・・・

先日、竹馬の練習をしているさくら組さんの姿を見て、私も乗ってみました。ところが、「乗れない！（泣）」のです。正直、ショックでした。また、春には、運動場で子どもたちと鬼ごっこをして、思わず足がこんがらがりそうになりました。自分が思っているより足が上がってないのです。こけなくてよかったです。

私は今年62歳になります。恥ずかしい話ですが、年齢も考えずに、子どもと同じことをしようとしているので、そもそも無理なのですけど・・・

でも、頭の中では、「できていた時の自分」をイメージしているのです。20代とか30代とか40代の自分を！（厚かましいですよ、年甲斐もなく・・・）

その後、竹馬は乗れるようになりました。それは、体や頭が、覚えていた感覚を思い出したからだと思います。一度できていたことは、時間がかかるかもしれませんが、思い出せます。やはり、子ども時代や若いうちに、様々な経験（遊び、習い事、人間関係づくり、体育教室、リトミック、英語教室・・・）をしておくことは大切なんだと、身をもって再確認した次第です。

園長だよりの半分も使って、こんな話ですみません・・・私の愚痴みたいな話ですね。失礼しました。



◆気になっていること

先日、ある保護者の方からのご意見で、「子どもが水筒を斜めがけなどにしているときに転倒して、腹部に大けがをした話を聞き、心配している」との話をいただきました。また、職員が熱中症になった経験から、現在、園で行っている熱中症対策について、「ほかに何かできることがないかを今一度考える必要があるのではないか」との声がありました。

そこで、情報収集を行うとともに、園には「できること」や「できないこと」がある中で、現在の園でできることはないかを教職員みんなで考えてみることになりました。

来週には、園としての対応についてお知らせを出すことができると思います。いましばらくお時間をください。

◆ありがとう

今週は、トイレのところでスリッパをそろえてくれる子どもたちの姿を、よく目にします。写真を撮ることができてないので、その姿を紙面に載せることができないのが残念です。保護者の方々が、先週末の「園長だより」の記事を見て、声をかけてくださったのかなと思い、様子をお知らせしようと思いました。

大人も子どもも、ほめられるのはうれしいです！